



遠隔モニタリングシステム LATITUDE™ NXT

## 接続設定ガイド



6290 コミュニケータ

# ご家庭で 遠隔モニタリングシステムを はじめましょう

遠隔モニタリングシステムは、ご自宅などの医療施設から離れた場所から、コミュニケーターと呼ばれる専用の送信機をつかって、電話回線などを通じて、ペースメーカーやICD、CRT-Dなどの植込み型機器の情報を医療施設へ送ることができるサービスです。



# 目次

遠隔モニタリングシステムのしくみ	1
コミュニケータと附属機器	2
コミュニケータの各部の名称とはたらき	3
接続設置のながれ	4
1. コミュニケータを設置する	5
2. 通信手段を確認する	6
3. コミュニケータを接続する	7
4. 電源を接続する	10
5. 設定を確認する	11
正常にデータが送信されない場合	12
6. データを手動で読み込む／送信する	14
7. 体重計・血圧計を使用する	16
よくある質問	18

# 遠隔モニタリングシステムのしくみ



## 患者の植込み型機器

コミュニケーターと呼ばれる送信機（以下、コミュニケーター）を使い、ご自宅で植込み型機器の情報を自動的に無線で読みます。



植込まれている  
機器



コミュニケーター



専用サーバ



データ（医療施設へ）

## コミュニケーター

コミュニケーターは、読み込んだ植込み型機器の情報を、電話回線などを通じて、情報を管理する専用サーバへ送信します。送信は、ご自宅の電話回線か、USB 携帯アダプタによる携帯電話回線を通じて行います。

## 専用サーバ／病院

担当医や医療スタッフは、専用サーバへ送られた植込み型機器の情報をパソコン、タブレット端末、スマートフォンから閲覧できます。

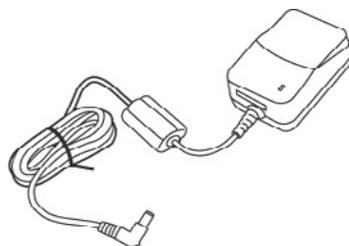
注意：この遠隔モニタリングシステムは、救急対応を目的とするものではありません。お体の具合が悪い時は、担当医師にご相談ください。また、緊急時は、担当医師または 119 番にご連絡ください。

# コミュニケーターと附属機器

## 本装置



ラティチュードWave コミュニケーター  
(コミュニケーター)



ACアダプタ

## 附属品



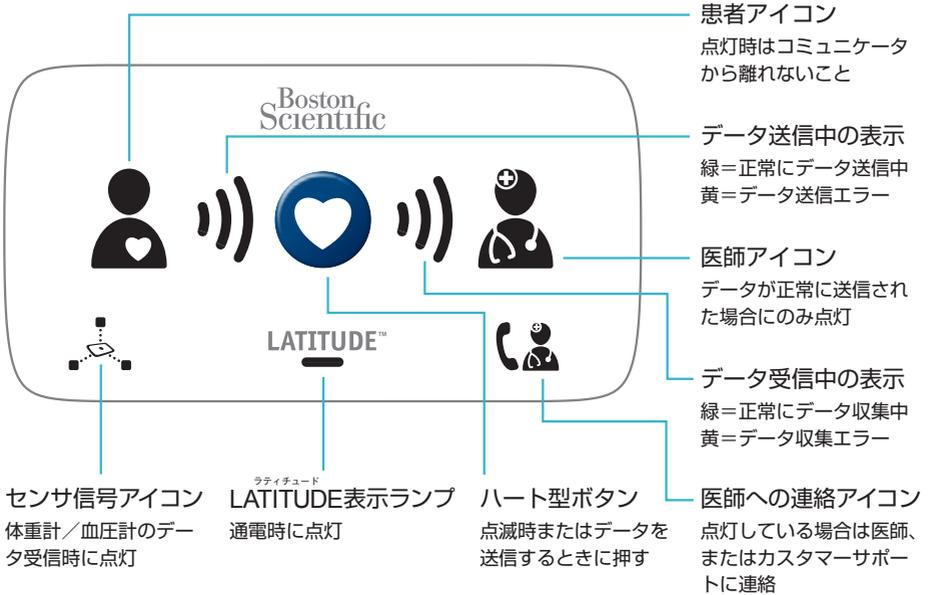
電話コード



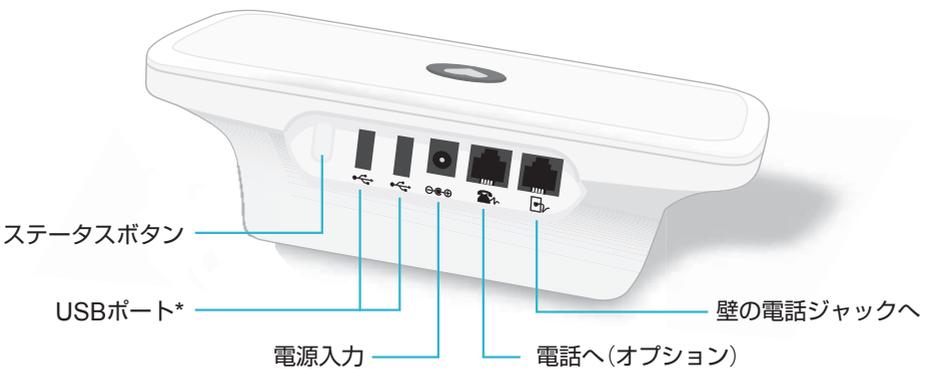
USB携帯  
無線通信アダプタ

# コミュニケーターの各部の名称とはたらき

## 前面



## 背面



\*USBセンサアダプタや、LATITUDE NXT USB携帯アダプタを接続するためのものです。

# 接続設定のながれ

チェック！

1. コミュニケータを設置する

2. 通信手段を確認する

3. コミュニケータを接続する

4. 電源を接続する

5. 設定を確認する

6. データを手動で読み込む／送信する（★）

7. 体重計と血圧計を使用する（★）

★マークのついている箇所は、医師の指示があった場合に行ってください。

# 1. コミュニケータを設置する

コミュニケータは可能な限り次のような場所に置いてください。

- 眠る場所の近くや、リビングなどの一日の中で多くの時間を過ごす場所
- コミュニケータの正面が見えやすい場所
- 植込み型機器と同じ程度の高さになる場所
- 電子機器から離れた場所

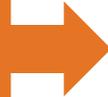
注意：コミュニケータは電源コンセントに差し込んだままにしてください。  
USB 携帯アダプタや電話回線は、コミュニケータと接続したままにしてください。



## 2. 通信手段を確認する

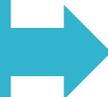
使用する通信手段によって設定方法が異なります。

**USB携帯アダプタを  
使用する場合**



**7 ページ**  
「コミュニケーターの接続」へ

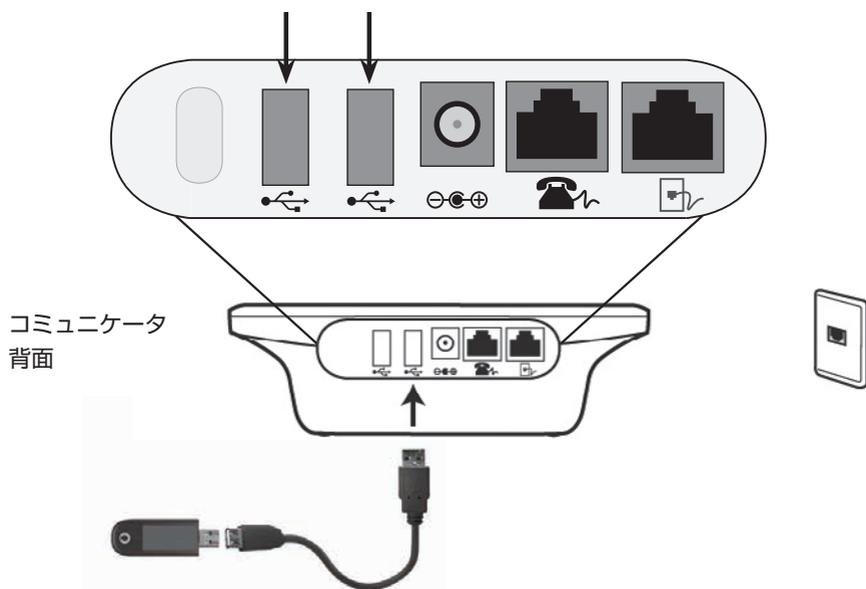
**ご自宅の電話回線を  
使用する場合**



**8 ページ**  
「スイッチの設定」へ

### 3. コミュニケータを接続する

#### USB携帯アダプタを使用する場合



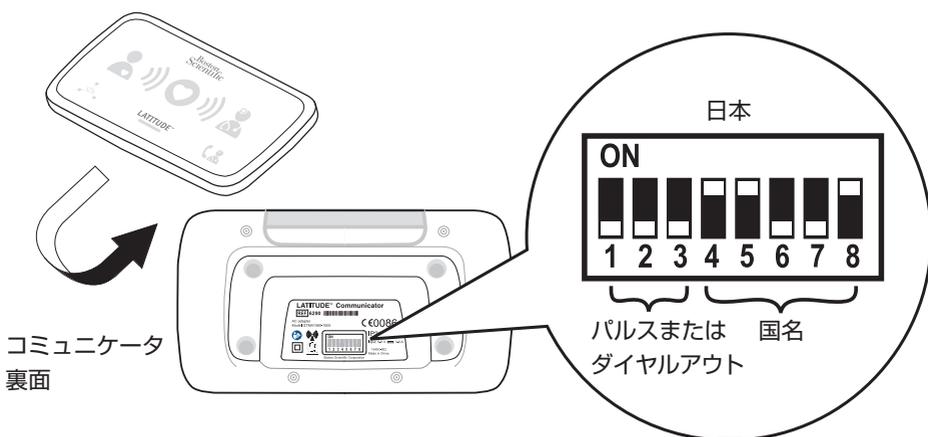
LATITUDE NXT USB 携帯アダプタを使用する場合、電話コードの取り付けは不要です。代わりに、対応の携帯アダプタを、コミュニケータ背面の  と表示されている差込口に接続してください。二つある差込口のどちらに接続しても構いません。

→10ページ「電源の接続」へ

## ご自宅の電話回線を使用する場合

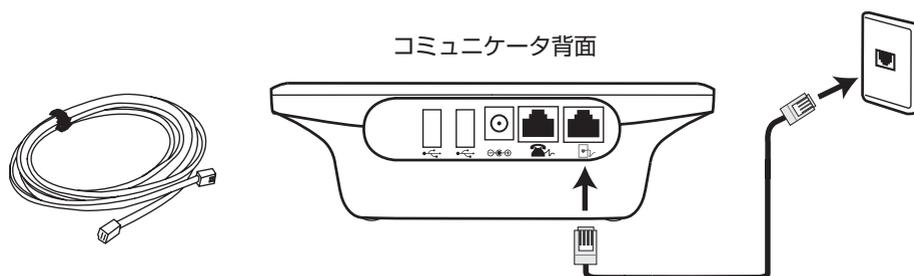
### スイッチを設定する

ここではプッシュ回線方式の場合のスイッチの設定方法をご説明します。  
コミュニケータの裏面にある 1～8 番のスイッチが、下の図のようになってい  
ることを確認してください。



ご自宅の電話回線がプッシュ回線方式でない場合、または電話回線のタイプ  
がご不明の場合には、LATITUDE カスタマーサポート (0120-033-686) ま  
でお問い合わせください。

## コミュニケーターを接続する

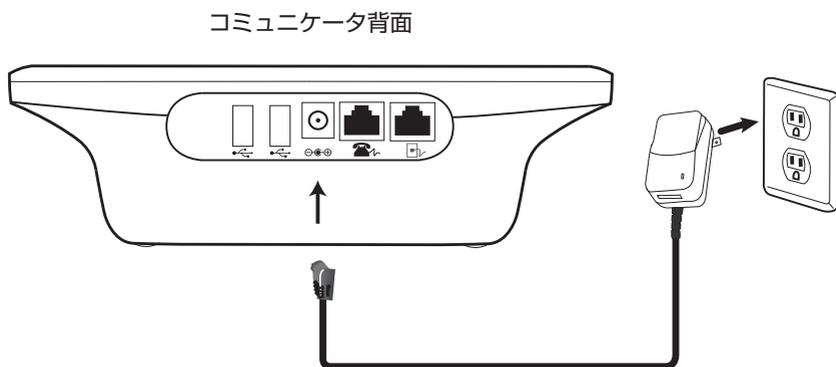


1. 同梱されているコミュニケーターの電話コードの一方を、と表示されたジャックに差込みます。
2. 電話コードのもう一方を、壁の電話ジャックに差込みます。
3. 壁の電話ジャックで電話を使用するには、コミュニケーターの と表示されたジャックに電話コードを差込みます。

壁の電話ジャック以外に接続する場合でお困りの方は、LATITUDE カスタマーサポート (0120-033-686) までお問い合わせください。

→10ページ「電源の接続」へ

## 4. 電源を接続する



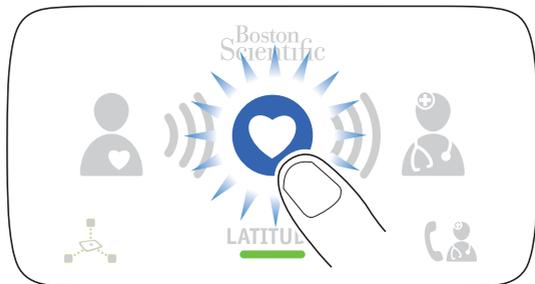
ACアダプタの電源コードをコミュニケーターの  $\ominus$   $\bullet$   $\oplus$  と表示された差込口に  
取り付けます。ACアダプタのプラグをコンセントに差し込みます。

注記：

- コミュニケーターは電源コンセントに差込んだままにしてください。
- ご自宅の電話回線を使用する場合、コミュニケーターは電話回線に接続したままにしてください。

## 5. 設定を確認する

1. ハート型ボタンが点滅するのを待ちます。点滅したらボタンを1回押してください。



5分待ちます。

正常に設定できたかどうかを確認します。

注記：

設定に長時間かかる場合、またはハート型ボタンが再度点滅した場合には、患者用取扱説明書 10 ページ「セットアップ情報のダウンロードとインストール」を参照してください。

2. 正常に設定され、データが送信されると、右側の医師アイコンが青色に点灯します。

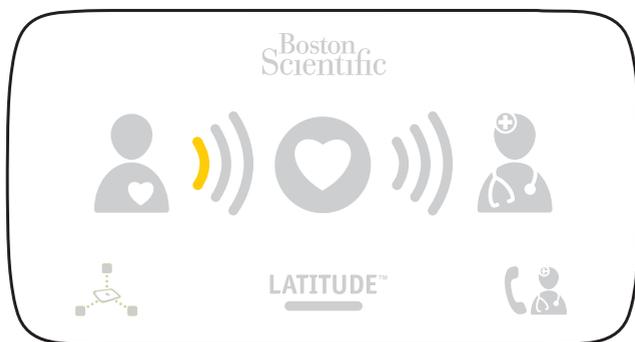


点灯しない場合は、12 ページ「正常にデータが送信されない場合」をご確認ください。

## 正常にデータが送信されない場合

ランプの状態から、エラーの内容を確認します。

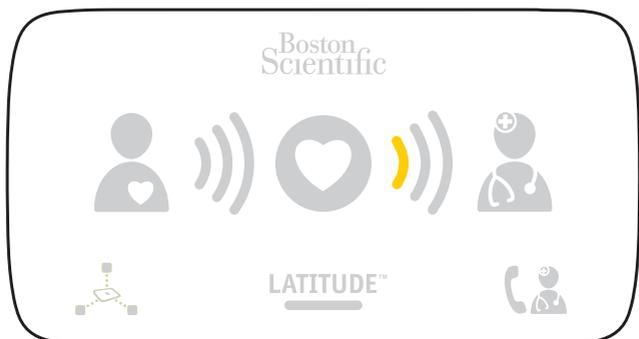
### エラー画面例 1



状態：  
コミュニケーターが植込み機器の位置を確認できていない。

- 対処方法：
- コミュニケーターが最適な場所に置かれていることを確認します。
  - コミュニケーターに向かって情報読み込みを再試行します。
  - 情報読み込み中は、動かずじっとしています。

## エラー画面例 2



状態：

コミュニケーターが固定電話の発信音、または、3G 携帯回線を検出できない。

対処方法：

固定電話の場合

- 受話器を持ち上げ、発信音を確認します。
- 電話線が壁のジャックとコミュニケーターにしっかりと差込まれていることを確認します。

3G 携帯アダプタをご使用中の場合

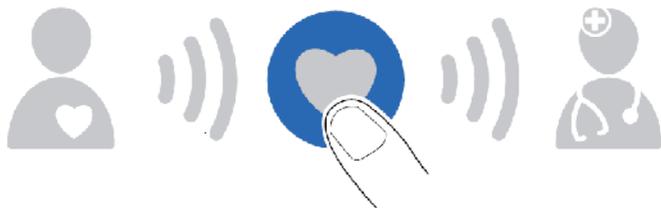
- より強力な信号が得られる可能性のある別の場所にコミュニケーターを移動します。

上記の対処方法でも改善しない場合や、その他のエラー画面については、患者用取扱説明書 39 ページ「トラブルシューティング」の章を参照していただくか、LATITUDE カスタマーサポート (0120-033-686) までお問い合わせください。

## 6. データを手動で読み込む／送信する

ハート型ボタンを押してください。

コミュニケーターは植込み機器の情報読み込みを始めます。



ランプが順番に点灯するのを確認します。

1. 患者アイコンが青色に点灯



コミュニケーターが植込み機器の情報を読み込んでいる状態です。

2. データ受信中の3本の線がすべて緑色に点灯



正常に情報が読み込まれると、ハート型ボタンが白色に点灯します。

### 3. データ送信中の 3本の線が順番に緑色に点灯



コミュニケーターが電話をかけ、LATITUDE システムへデータを送信しています。

### 4. 医師アイコンが青色に点灯



コミュニケーターから LATITUDE システムへ正常にデータが送信されました。画面のすべての表示ランプが 2 分間点灯し、すべての処理が正常に終了したことを示します。

ランプが正常に点灯しない場合は、患者用取扱説明書 39 ページ「トラブルシューティング」の章を参照していただくか、LATITUDE カスタマーサポート (0120-033-686) までお問い合わせください。

**データを自動で読み込む設定になっている場合は、  
夜間に読み込みを自動的に行っています。**

## 7. 体重計・血圧計を使用する

体重計と血圧計が附属している場合は、それらの機器を使用し、測定した情報を送信することができます。測定の方法は、通常の体重計や血圧計と同じです。

### 本体



体重計



血圧計



血圧計用カフ

### 附属品



USB無線通信センサアダプタ

## USB センサアダプタを接続する



USB センサアダプタは、LATITUDE 体重計・血圧計と一緒に提供されます。USB センサアダプタは、体重計、血圧計の情報を、無線でコミュニケーションユニットに送信します。

- ① USB センサアダプタのキャップを外します。
- ② コミュニケーションユニット背面の  と表示された差込口の一つに USB センサアダプタを差込みます。二つある差込口のどちらに接続しても構いません。

体重計と血圧計を使用するときに必ずコミュニケーションユニットが測定値を受信できるように、USB センサアダプタはコミュニケーションユニットに差込んだままにします。

体重計および血圧計の使用方法は、機器に同梱されている、コミュニケーション患者用取扱説明書（体重計・血圧計用の補足説明）をお読みいただくか、LATITUDE カスタマーサポート(0120-033-686)までお問い合わせください。

## Q&A

### Q1. 外出先にコミュニケーターを持っていくことは可能ですか？

**A1.** コミュニケーターは外出先で使用することができます。長期間お出かけになるときは、事前に医療機関にご連絡下さい。海外にコミュニケーターを持っていく場合の注意点は、LATITUDE™ カスタマーサポートまでお問い合わせください。

### Q2. コミュニケーターの通信費用の負担はありますか？

**A2.** ありません。ご自宅の電話回線を使用する場合、フリーコールで通信を行います。USB 携帯アダプタを使用する場合も費用負担はありません。

### Q3. コミュニケーターの操作を間違えた場合、植込み機器に影響はありますか？

**A3.** コミュニケーターは植込み機器の動作に影響を与えることはありません。

### Q4. オプションの体重計と血圧計は、どのくらいの頻度で測定したらよいでしょうか？

**A4.** 測定する頻度は、担当医師の指示にしたがってください。

以上で、初期設定は完了です。

これ以降は、担当医師の指示にしたがって、  
遠隔モニタリングシステムをご使用ください。

コミュニケーター設置方法の詳しい内容につきましては、  
患者用取扱説明書でもご確認いただけます。

ご不明な点がございましたら、  
18 ページの「よくある質問」をご覧くださいか、  
LATITUDE™ カスタマーサポート（0120-033-686）まで  
お問い合わせください。





緊急時は、担当医師または119番にご連絡ください。  
体調にかかわる質問は、担当医師にご連絡ください。

コミュニケーターの設定・操作方法に関してご不明な点がございましたら、  
ラティチュード  
LATITUDE™ カスタマーサポートまでお問い合わせください。

 0120-033-686

受付時間：年末年始および土日祝日を除く、月曜日から金曜日 9:00-17:00

LATITUDE™ NXT Wave コミュニケーター  
製造販売業者：ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社  
販売名：ラティチュード Wave コミュニケーター  
医療機器認証番号：226ADBZX00186000

LATITUDE™ 血圧計  
製造販売業者：株式会社イー・アンド・デイ  
販売名：イー・アンド・デイ デジタル血圧計 UA-772  
医療機器認証番号：219AHBZX00016000

この冊子に記述されている内容は患者様への情報提供を意図しており、  
医学的なアドバイスや診断に使用されるべきものではありません。  
もし健康状態に関して何らかの不安があれば、医師にご相談ください。  
© 2022 Boston Scientific Corporation or its affiliates. All rights reserved.  
All trademarks are the property of their respective owners.

**Boston  
Scientific**  
Advancing science for life™

製造販売元：  
ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社  
本社 東京都中野区中野4-10-2 中野セントラルパークサウス  
[www.bostonscientific.jp](http://www.bostonscientific.jp)

CRM-1388007-AA